

業種別ソリューションビジネスの取り組み

公共・自治体ソリューション

「行政サービスのデジタル化」「行政運営の効率化」が求められる中、ガバメントクラウド・働き方改革・DXニーズにより自治体においてもクラウド活用が徐々に活性化しています。NTT東日本では、自治体のクラウドリフト・クラウドシフトに合わせた庁内環境の高度化・セキュリティ対策や、自治体DX推進の伴走支援など、地域に密着したICT企業として地域の皆さまの課題解決をサポートします。

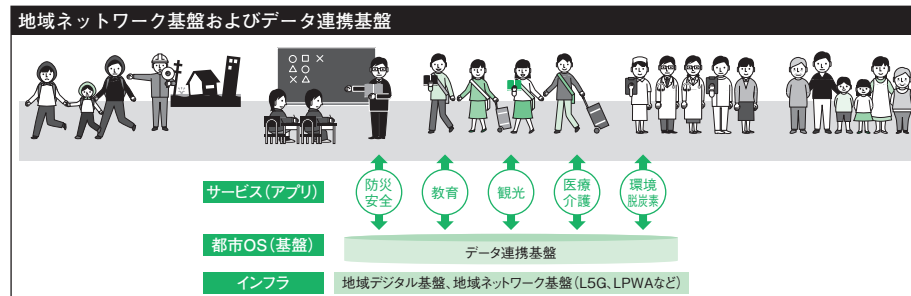
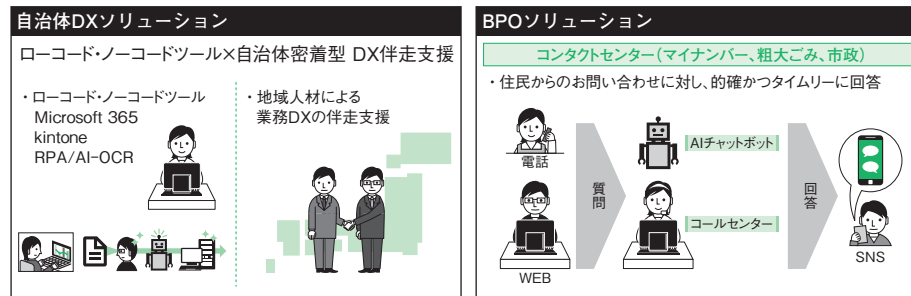
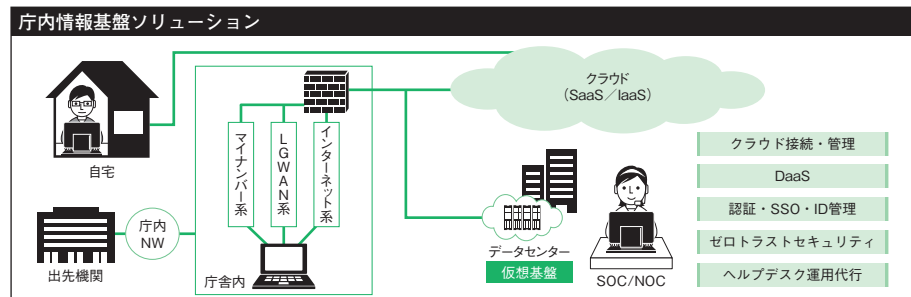
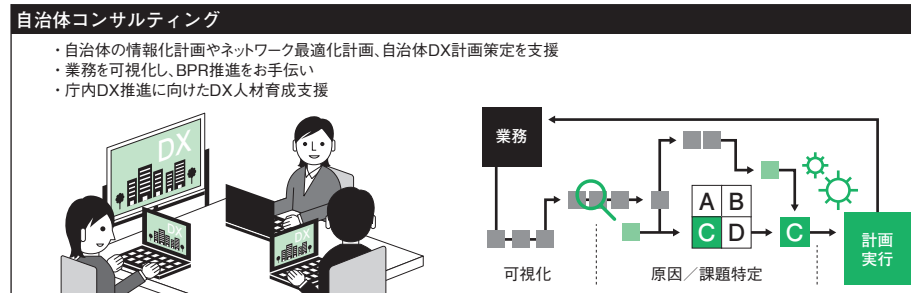
●取り組み方針

- これまでの地域に根ざした活動で培った豊富な知見と、NTT東日本グループ各社のアセットも活用し、公共・自治体の皆さまの多種多様なニーズに対応したソリューションを提供します。
- 特定ベンダーにとらわれない中立的な立場で、コンサルティングから構築、保守・運用のトータルソリューションを提供します。

●代表的な公共・自治体ソリューション

目的・ニーズ	ソリューション	概要
<ul style="list-style-type: none"> ●ICTをどのように導入すれば地域に有用な政策となるか、具体的なアクションプランを立案したい ●自らがDXを推進できるよう職員育成を含め自走化に向けた体制を整えたい 	自治体 コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の情報化計画やネットワーク最適化計画、職員業務BPR（業務の可視化・改善）に基づく自治体DX計画をはじめ、グランドデザインからシステム構築、職員育成までトータルで支援します。
<ul style="list-style-type: none"> ●自治体庁内環境のセキュリティを確保しつつ利便性の向上を図りたい 	庁内情報基盤 ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・ガバメントクラウドの活用を踏まえた庁内ネットワークの再構築や、利便性向上に向けたSaaS利用、リモートアクセス環境、IT統合運用サービスなど、お客様の環境・働き方に合わせた最適なソリューションを組み合わせて、庁内環境の整備をお手伝いします。
<ul style="list-style-type: none"> ●職員の働き方を改善したい・効率化したい ●庁内DXを内製化・自走化できるよう職員を育成したい 	自治体DX ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の可視化・分析に基づき、多様なプロセスが存在する自治体の業務にローコード開発を適用し、業務DXを支援します。 ・地域に根差したNTT東日本の人材が密着型で導入・自走化をサポートします。
<ul style="list-style-type: none"> ●情報政策の企画立案に注力する稼働を確保したい ●住民からのお問い合わせ業務を効率化したい 	BPO ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・原課からの問い合わせ対応、障害時の切り分けや運用統括業務などをNTT東日本に一括してアウトソースいただくことで、情報政策の企画立案に注力できる環境を提供します。 ・住民からのお問い合わせ業務について、コールセンターやAIチャットボットを活用いただくことで開庁時間に限らず対応が可能となるうえ、住民の声を統計立てて分析することで住民サービス向上につなげることができます。
<ul style="list-style-type: none"> ●地域のデジタル基盤を整備し、ブロードバンド・ゼロ地域の解消および、デジタル田園都市国家構想の実現に寄与したい ●地域や分野ごとに分散されたデータの相互連携を通じて地域課題の解決に寄与したい 	地域ネットワーク 基盤(有線/ローカル5G・LPWA・Wi-Fiなど)およびデータ連携基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロードバンドのみならずローカル5GやLPWAなどの無線を含む新たな技術を活用し、地域課題の解決に資するネットワーク基盤整備をお手伝いします。 ・社会のDX化によって日々生成されるデータを一か所に集積・分析するプラットフォームを構築し(データ連携基盤)、EBPMの実現をサポートします。

<代表的な公共・自治体ソリューションイメージ>



※詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

<<https://business.ntt-east.co.jp/service/industry/gov.html>>

街Wi-Fiソリューション

自治体などが、観光拠点・防災拠点などに公衆Wi-Fiの整備を行い、地域の観光資源に関する情報を発信したり、災害時の情報発信入手拠点としたいというニーズが増えています。

こうした“街Wi-Fi”の整備は、「自治体などが主導的に整備する箇所」「民間の施設所有者に働きかけ整備する箇所」を計画し、官民連携で実行していくことが必要とされています。

NTT東日本は、ギガらくWi-Fi ハイエンド6プラン、ハイエンドプラン、ハイエンドExプランを組み合わせ、官民連携で一体的な“街Wi-Fi”を整備するご提案で自治体などのニーズにお応えします。



●特長

○Japan Wi-Fi連携

エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社が提供する、日本全国のフリーWi-Fiに接続できる無料アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」に対応するSSIDを設定可能

○ブラウザ認証 (メール&SNS)

メールアドレスやSNSからWi-Fiに簡単に接続可能

(総務省の無線LANビジネスガイドラインで推奨している認証方式に対応)

5言語 (日本語、韓国語、中国語 (簡体、繁体)、英語) に対応しており、日本人だけでなく、訪日外国人にも安心して提供可能

○屋外も対応可能

屋外などの防水・防じん性能が求められる場所でも、多くのモバイル端末が接続しても安定利用可能なハイエンドExプラン*で提供可能

*IP67相当の防水・防じん性能。動作温度:-40℃~55℃、湿度:5%~95%まで対応、接続推奨台数50台、電波カバー半径50m

※総務省「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/kyouzinkasinsei.html

初等中等ソリューション

文部科学省の掲げる「GIGAスクール構想」を踏まえ、官民を挙げた教育の情報化が進められています。新学習指導要領では、主体的かつ対話的で深い授業には、効果的なICTの活用が前提となっています。学習環境のデジタル化が大幅に進む中、校務DXの推進による教職員の負担軽減も求められています。

NTT東日本は、個々の学校の現状、政府の方針や学校・教育委員会のご要望に応じて、ICT環境の構築から運用、活用までをトータルにご提案いたします。具体的には、ネットワーク、情報セキュリティ対策、教室のICT化、教職員の働き方改革を支援する校務の情報化などのソリューションを提供しています。また、ヘルプデスクやICT支援員、リモート支援員などによるICT環境の利活用のサポートも行います。

●情報セキュリティ対策

文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」第3版では、GIGAスクール構想による1人1台端末を活用する上で必要なセキュリティ対策や、クラウドサービス活用時の課題に対応した内容に改定されました。

ローカルブレイクアウト構成や認証によるアクセス制御を用いることにより、ネットワーク分離の必要なく安全にクラウドの利活用が可能となります。これにより、学校外からの校務情報へのアクセスの実現や端末持ち帰り時のリスク軽減、将来的な校務・学習系の連携が実現できます。

NTT東日本は学校現場におけるICT環境を安心・安全に利用するために、利用するネットワークや場所にとらわれないセキュリティ対策をご提案します。

●ICT利活用

全国の学校現場では、2019年度からのGIGAスクール構想に関わる整備に関連し、今後は多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことのない、個別最適化された学びの持続的な実現が求められています。

NTT東日本は、1人1台端末の整備に加え、AIドリルなどの各種アプリケーションや電子黒板などのICT機器、安定的に使える最適な通信環境、ヘルプデスクや先生向けの研修会など、環境整備から運用サポートまでトータルコーディネートします。

特に1人1台端末活用の“日常化”に向け、GIGAスクール特別メニューを用意し、学校現場に精通したヘルプデスクやリモートによる教員向けのミニ勉強会（リモート支援）など、利活用をサポートするメニューを豊富に提供しています。

●学校の働き方改革（校務の情報化）

校務情報化の推進により、多忙感を抱えていると言われる教職員の事務負担を軽減し、校務事務の効率化による教育の質の向上が期待できます。

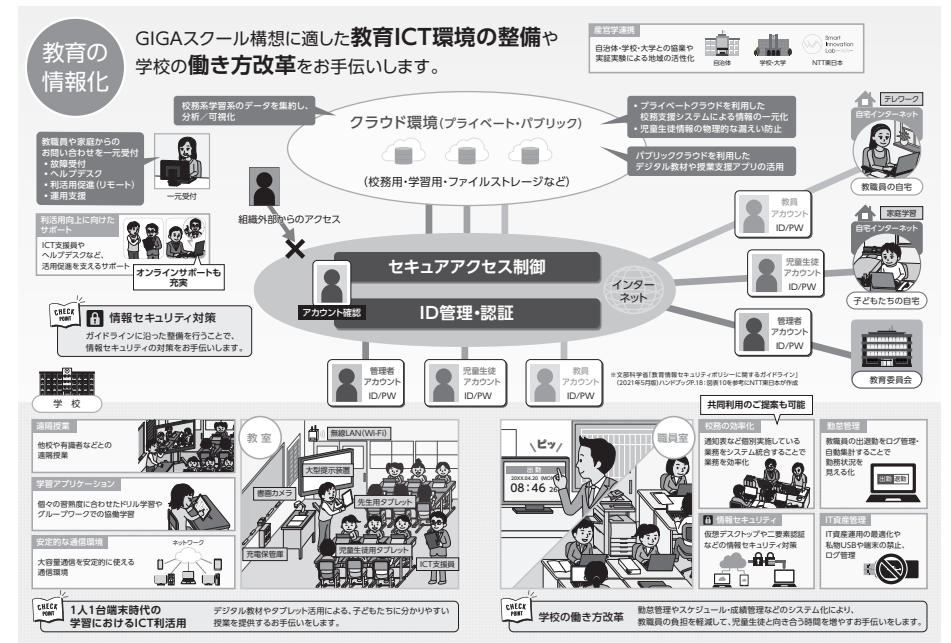
校務の情報化ソリューションでは、統合型校務支援システムの構築・運用のみならず、学校に必要なセキュリティ対策からネットワーク環境までをトータルで提供するとともに、多くの実績で培ったノウハウを導入後の運用サポートに活かしています。また、初期導入費を低廉化するなど、より手軽に導入できるクラウドサービス「Bizひかりクラウド おまかせ校務」も提供しております（P.222参照）。

※詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

<<https://business.ntt-east.co.jp/service/industry/edu.html>>



●初等中等ソリューション



目的・ニーズ	ソリューション	概要
●セキュリティを強化し、個人情報などの情報漏えいをなくしたい	情報セキュリティ対策	「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に沿ったシステムのセキュリティ対策を実現できます。 ・ID管理、認証、アクセス制御による機密情報の保護 ・多要素認証によるなりすまし・不正アクセスの防止 ・シングルサインオンによる利便性確保 ・通信暗号化によるデータへのセキュアアクセス ・Webフィルタリングによる不適切サイトへのアクセス防止 ・MDM・EDRなどの端末におけるセキュリティ対策 ・データ暗号化による情報漏洩対策
●児童生徒の学習意欲を高める協働学習や個別学習を実現したい	ICT利活用	学校では、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことのない、個別最適化された学びの持続的な実現が求められており、ICTは必要不可欠になっています。 ・端末や電子黒板などの授業用ICT機器 ・最適なネットワーク環境 ・ヘルプデスクや研修などの利活用サポート
●教職員の校務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を増やしたい	働き方改革	学校の基本情報(人・教科・時間)を核とした学校業務全般にわたるシステムが統合型校務支援システムです。 ・統合型校務支援システム(構築/運用サポート) ・保護者連絡ツール ・デジタル採点システム ・教育ダッシュボード

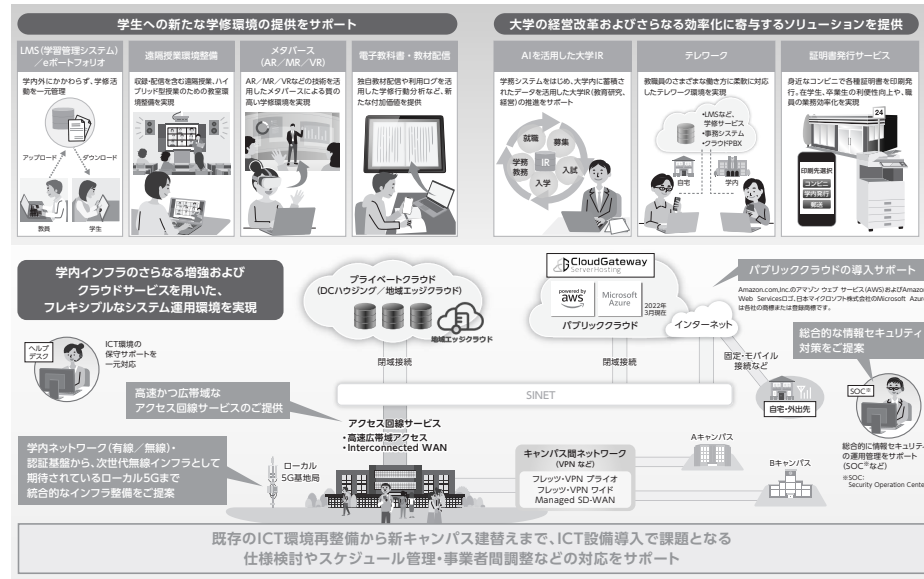
大学ソリューション

大学は、変革の時期を迎えており、大学を取り巻くさまざまな環境に対応した革新を推進しています。NTT東日本では、大学教育にかかわるすべての方々の「顧客満足」を追求し、現場で抱える課題やニーズにお応えし、大学の教育力・競争力の向上をめざし、コンサルティングから構築、保守・運用までトータルでサポートしています。

●特長

- トータルサポート：情報基盤からアプリケーションまでをトータルコーディネートしたICT教育環境をコンサルティングから構築、保守・運用まで一貫して実施します。
- マルチベンダー：メーカーに捉われずお客さまの環境に合った製品を選定し、大学に適したICTキャンパスを構築します。
- 地域密着：身近な総合ICT企業としてきめ細かなサポートとクラウドサービスや光ネットワークインフラを活用し大学運営をサポートします。
- 導入実績：大学への豊富な構築・運用実績で培った確かな信頼とノウハウで、大学の付加価値を高める理想のICTキャンパスを創造します。

<代表的な大学ソリューションイメージ>



※詳細につきましては、以下のURLをご参照ください。

<<https://business.ntt-east.co.jp/service/industry/edu.html>>

●代表的な大学ソリューション

目的・ニーズ	ソリューション	概要
<ul style="list-style-type: none"> ●高速かつ将来性に優れたネットワークを構築したい ●利便性を向上しつつセキュリティを担保したい ●運用コストを大幅に削減したい 	ネットワーク回線 情報基盤 ・ネットワーク基盤 ・サーバー基盤 ・認証基盤 クラウド・データセンター	高いセキュリティを維持しながら利便性を向上します。加えてサーバー集約や統合認証により消費電力や運用稼働を大幅に削減します。
<ul style="list-style-type: none"> ●システム運用負担とコストを削減したい ●災害時でも学生・保護者と連絡をとりたい ●セキュアな環境でサービス提供したい 	クラウド・データセンター	利用シーンに合わせて、パブリッククラウドとプライベートクラウドを使い分けるハイブリッドクラウドを活用することで、システム運用の軽減やコスト削減、災害時のBCP対策を実現します。また、学術情報ネットワーク (SINET) などのネットワークを利用することでセキュアなクラウドサービスを提供します。
<ul style="list-style-type: none"> ●学生へ新たな学修環境を提供したい ●学修活動を管理・記録・蓄積したい ●学修の質を向上させたい 	LMS (学習管理システム) / eポートフォリオ 遠隔授業環境整備 メタバース (AR / MR / VR) 電子教科書・教材配信	学内外にかかわらず、学修活動を一元管理します。 収録・配信を含む遠隔授業、ハイブリッド型授業のための教室環境整備を実現します。 AR / MR / VRなどの技術を活用したメタバースによる質の高い学修環境を実現します。 独自教材配信や利用ログを活用した学修行動分析など、新たな付加価値を提供します。
<ul style="list-style-type: none"> ●大学の経営改革および、さらなる業務の効率化をしたい 	AIを活用した大学IR テレワーク 証明書発行サービス	学務システムをはじめ、大学内に蓄積されたデータを活用した大学IR (教育研究、経営) の推進をサポートします。 教職員のさまざまな働き方に柔軟に対応したテレワーク環境を実現します。 身近なコンビニで各種証明書を印刷発行できます。在学生、卒業生の利便性向上や、職員の業務効率化を実現します。

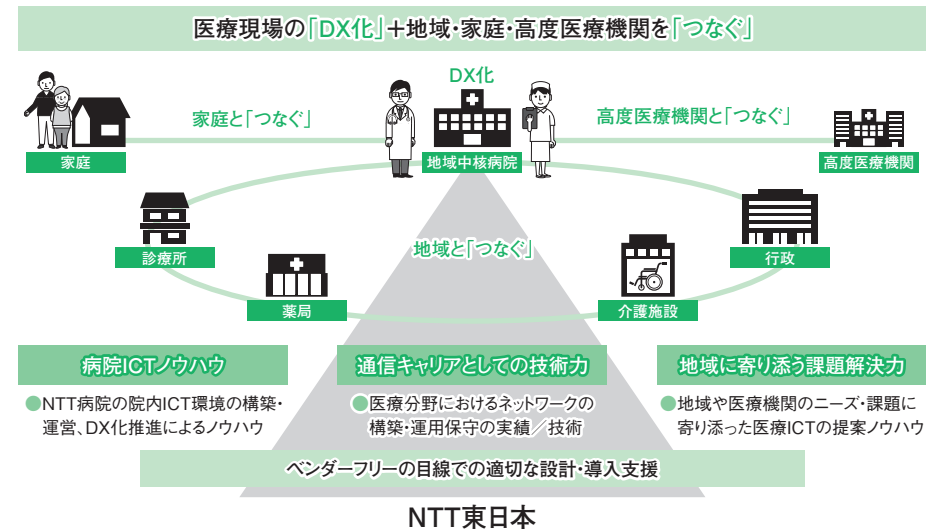
医療・ヘルスケア分野ソリューション

NTT東日本は、誰もが安心して医療サービスを受けられる時代をめざして、「人×医療機関×地域」を「つなぐ」医療・ヘルスケアICTを促進いたします。

クラウドやデータセンター、ネットワーク技術を活かし、医療アプリケーションサービスを提供する事業者との連携提案も行っております。つなぐノウハウを活用し、お客さまに合わせた最適なサービスをご提案いたします。

●NTT東日本がめざす姿

医療機関などのDX化の推進および地域・家庭・高度医療機関を「つなぐ」ことで、医療現場の課題解決や最適な医療サービスの提供を支援します。



●代表的な医療・ヘルスケア分野ソリューション

目的・ニーズ	ソリューション	概要
<ul style="list-style-type: none"> ●院内コミュニケーションを円滑に行いたい ●音声通話だけではなく、院内アプリなどのコミュニケーションツールを1つのデバイスに統一したい ●ナースコールの一斉呼出しを実現したい 	PBX×スマートフォン×ナースコール連携	院内のコミュニケーションツールとしてスマートフォンを導入することで、内線電話通話やチャットなどによる、より円滑・効率的な院内コミュニケーションや、スマートフォンでのナースコール受信・一斉呼出しなどを実現。
<ul style="list-style-type: none"> ●施設内のネットワーク構成、機器構成を把握したい ●施設内のセキュリティ上の脆弱点を明らかにしたい ●「医療機関向けセキュリティガイドライン^{*1}」に対する適合状況を把握したい 	医療機関等向けセキュリティソリューション	昨今の医療機関に対するサイバー攻撃を背景に、医療機関におけるセキュリティリスクが高まっていることを受け、以下のソリューションを提供。 【ICT見える化調査】 医療機関などへの現地訪問・ヒアリングを行い、医療機関内のネットワーク構成、接続機器構成を見える化。 【セキュリティガイドライン適合調査】 「医療機関向けセキュリティガイドライン ^{*1} 」との適合状況を明らかにし、必要な対策などをコンサルティング。
<ul style="list-style-type: none"> ●医療現場での働き方改革・生産性を向上させたい ●感染症予防対策の一環として、オンラインで診療できる環境を用意したい 	オンライン診療サービス	遠隔から患者を診察する「オンライン診療サービス」を提供(提供元事業者へ取次)。 診療予約、問診、診察、請求などの一連の流れをオンラインにて実施することが可能。
<ul style="list-style-type: none"> ●医療現場での働き方改革・生産性を向上させたい ●待ち時間の削減、院内感染防止にも貢献 	AI問診サービス(ユビエAI問診 ^{※2})	患者ごとにAIが最適な質問を自動生成・聴取し、医師のカルテ記載業務の効率化を実現するAI問診システム(提供元事業者へ取次)。 従来の紙からAIを活用したデジタルでの問診とすることで、患者の主訴や回答に応じてAIが疑わしい疾患を考えながら質問を変化させることにより、詳細な事前問診が可能。
<ul style="list-style-type: none"> ●住民の健康意識の向上、行動変容を促したい ●自治体における医療・健康の課題分析をしたい 	スマートシティに向けた健康医療データプラットフォーム	住民、行政、企業・医療機関を“つなぎ”、各々が保有するデータを利活用することで、医療・ヘルスケア分野を起点として、子育て、防災、地域活性化などさまざまな分野において、より暮らしやすい街づくりを提案。 健康・医療・介護・行政データを地域で守り発展させていく「医療健康データ地域循環モデル」により、住民や地域社会に対する新たなサービス創出・価値の提供を地域で完結するモデルを実現。
<ul style="list-style-type: none"> ●住民・従業員の睡眠改善を図りたい、健康意識を向上させたい 	スリープテック	睡眠をテーマとした事業コンサルティング、測定デバイスによる睡眠の可視化、睡眠改善動画コンテンツやオンラインセミナーなどの企画を実施。

*1 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」

*2 医療機関での既存システムなどとの連携については、取次先の提供元事業者などとの調整が必要となります。

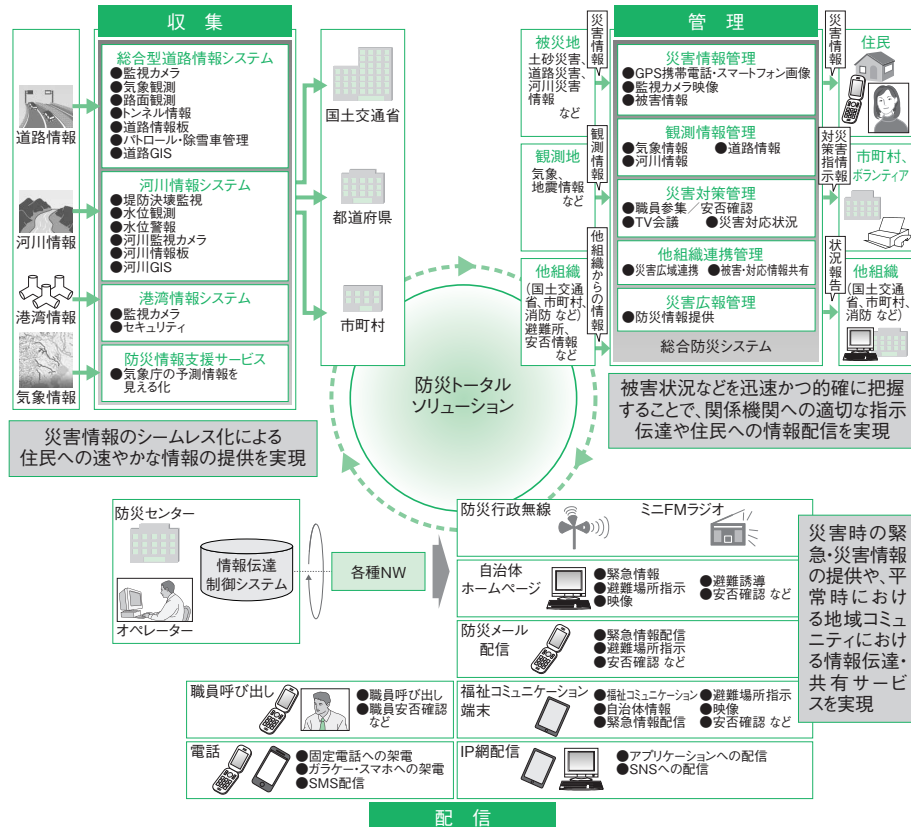
防災・減災分野ソリューション

災害時の被害軽減には、迅速な情報の収集、膨大な情報の管理・分析、そして、的確な情報の配信が必要不可欠です。国・地方自治体・民間企業が一体となって、効率的・効果的な防災対策を進める中、NTT東日本では、これまで培ってきた災害対策のノウハウを最大限に活用し、ICT技術を活かして多くの人々を災害から守るための仕組み作りを支援しています。コンサルティングからシステム構築、運用・保守までトータルにご提案し、誰もが安心・安全に暮らせる社会をめざし、トータルサポートを実現しています。

●取り組み方針

- 地域が抱えるさまざまな災害などの脅威・不安に対し、それぞれの環境・課題などに応じた解決策をICTを活用してサポートします。
- 電気通信事業者としてのノウハウをもとに、万一の際にも、住民の皆さまへサービスが滞らない防災・減災システムを体系的にご提案します。

<代表的な防災・減災分野ソリューションイメージ>



●代表的な防災・減災分野ソリューション

目的・ニーズ	概要
<ul style="list-style-type: none"> ●道路・河川の維持管理を効率的に行いたい ●災害の予兆を迅速に提供する必要があります 	<p>道路、河川の管理者には平時から管轄する道路、河川の維持管理を行うとともに、災害の予兆をとらえ、必要な情報を利用者へ提供していくことが望まれます。また、災害発生時には、警察、消防、沿道・流域周辺の自治体および住民へ対しても速やかに情報を提供し、災害対策の支援を行うことも求められます。</p> <p>NTT東日本の情報収集ソリューションは、情報のスムーズな伝達を実現する統合型情報システムです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●災害対策に必要な情報を把握するのに時間がかかる ●状況認識の統一を図りたい 	<p>災害発生時には、災害対策本部が効果的に機能し、被災状況や避難状況などを迅速かつ的確に把握し、関係機関への適切な指示伝達、住民への積極的な情報配信が求められます。NTT東日本は自身が克服してきた災害の経験を生かし、すべてが有機的に機能する総合的な防災システムの構築をお手伝いいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●多種多様なメディアを介して住民に迅速・確実に災害情報を届けたい ●災害対応に必要な人員を確保するため職員の呼び出しを行いたい 	<p>自治体による住民などへ緊急・災害情報を迅速、確実に伝えるため防災行政無線や自治体ホームページ、緊急情報配信など多種多様なメディアを活用し、かつ、簡易な操作で配信できることが望まれます。また、非常時に職員の安否や出勤可否を確認し、災害対応が可能な人員の確保も求められます。</p> <p>NTT東日本では、地域ブロードバンドといった情報基盤の整備に加え、多種多様な情報配信システムの構築・運用まで、トータルでお手伝いいたします。</p>

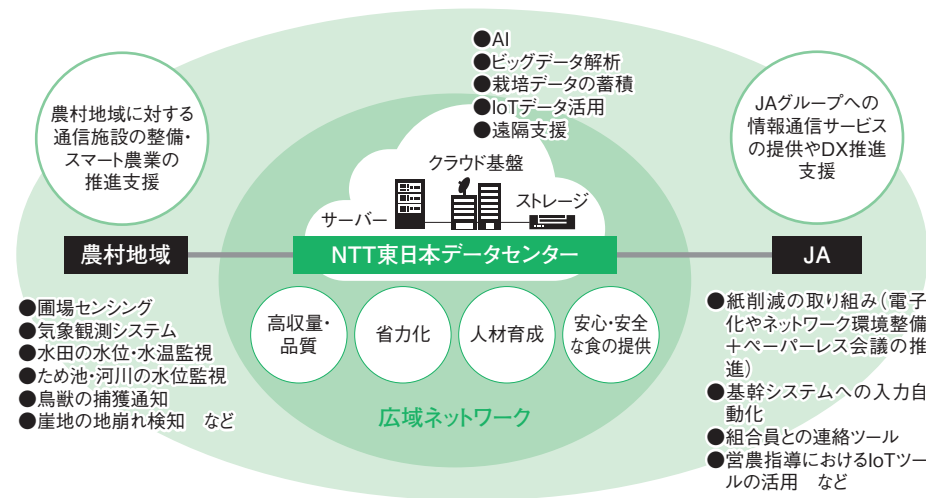
農業分野ソリューション

「地方創生」に向けた農山漁村活性化施策として、「所得向上と雇用確保」「住みよい生活環境」「地域資源の維持管理」などの取り組みが推進される中で、その取り組み基盤を下支えする施設整備やインフラ整備にICT利活用が大いに期待されています。NTT東日本の農業分野における取り組みは、JAグループへの情報通信サービスの提供を原点として30年近くの歴史があります。地域密着型体制にて農業経営の効率化、生産性向上および生産者と消費者をICTでつなぐ仕組みのお手伝いをいたします。

●取り組み方針

- 食の安全・安心の確保や生産者の皆さまの生産性の向上、収益拡大をお客さまの環境・状況に応じた最適なICT利活用でお手伝いいたします。
- 地域に密着した営業体制により、コンサルティングから構築・保守・運用に至るまで自治体・農業関連団体（JAなど）の皆さまの取り組みをトータルのサポートし、農業および農山漁村活性化に向けたお手伝いをいたします。

<NTT東日本における農業分野の取り組みイメージ>



(参考：農業関連グループ会社)

- NTTアグリテクノロジー (P.188参照) <<https://www.ntt-agritechnology.com/>>
- バイオストック (P.192参照) <<https://www.biostock.co.jp/>>
- NTT e-Drone Technology (P.200参照) <<https://www.nttedt.co.jp/>>

●代表的な農業分野の取り組み

取り組み	概要
農村地域に対する通信施設の整備・スマート農業の推進支援	<p>【背景】 農村地域では、少子高齢化、人口減少の進行などにより、農業水利施設や農業集落排水施設などの農業農村インフラの維持管理体制の脆弱化や農業生産における労働不足などが懸念され、ICTの活用に期待が高まっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、テレワークなど多様な働き方が広まりつつあり、こうした流れを田園回帰に結びつけるうえで、農村に安心して住み続けられるための生活インフラとして情報通信環境の重要性が高まっています。</p> <p>【取り組み概要】 NTT東日本では、地域と連携しながら農村地域のICT利活用のための通信施設（光ファイバー・無線基地局・通信機器など）の整備を一体的に支援するとともに、整備した通信施設を活用して、地域のニーズに沿ったスマート農業や地域活性化のためのソリューション（圃場センシング・気象観測システム・水田の水位・水温監視など）を幅広く提供しています。</p>
JAグループへの情報通信サービスの提供やDX推進支援	<p>【背景】 NTT東日本では、東日本エリアの約300近くの単位農協をはじめとして、全国連や県連組織、JAグループ会社へ電話回線や通信機器、社内ネットワークを提供させていただいています。そんな中JAでは、大規模合併や支所統合が進んでおり、合わせて業務の効率化も課題になっています。また、身近なDX化といった機運も高まってきており、組合員とのコミュニケーション強化やあらゆる原課でのデジタル化推進のニーズも増えています。</p> <p>【取り組み概要】 NTT東日本では、今までの情報通信サービスの提供のほかに、JAの職員業務のDX化を中心としたご支援を実施しています。事務所、外出先など場所を問わず円滑な会議の実現や各種基幹システムへの投入自動化や組合員との連絡ツール（ビジネスチャット）の提供、あるいは営農指導におけるIoTツールの活用など、多岐にわたるICTソリューションで、JAのDX推進を後押しいたします。</p>